

防水形共通取扱説明書

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。取付工事に不備があると、火災・感電・落下の原因になります。
- 器具防水区分（「防湿形」「防雨形」など）以外の場所で使用しないでください。火災・感電・絶縁不良の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- 壁取り付けや、傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- この器具は防水形です。電源線の接続部は完全な防水絶縁処理をしてください。火災・感電・絶縁不良の原因となります。
- 使用地域の周波数（50Hz・60Hz）以外のものを使用しないでください。火災の原因となります。
- 周囲温度は5~35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。
- 振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下の原因となります。

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

- 1・天井にあらかじめ取付ボルトを用意する。
取付ボルトは器具質量に十分耐えられるよう強度を確保する。
- 2・本体の電源穴（ノック穴はノックを抜く）に、付属のブッシュを取り付け、電源線、アース線を引き込み、取付ボルトに確実に取り付け。
- 3・電源線を接続する。
- 4・アース端子を利用してD種接地工事を行う。
- 5・ソケットをエンドプレート（トラフ形、笠付形）、またはソケット台（逆富士形）に取り付ける。
- 6・反射板を確実に取り付け。
 - トラフ形器具、笠付形器具（図1）
 - 1) 反射板に付属のターンファスナーを90度回転させ、仮止めする。
 - 2) 次に反射板を本体に押しつけてターンファスナーをさらに90度回転させ取り付ける。
 - 逆富士形器具
 - 1) 反射板の切り欠きにソケットを挿入し、反射板を天井面に押し上げる。（2灯用の場合ソケットは、図2のように矢印の方向に移動する。）
 - 2) 化粧ネジで確実に取り付け。
- 7・グロースタータをグローソケットに取り付け、防水性が損なわれないようゴムパッキン、グローキャップを確実に取り付け。（グロー式器具のみ）（図3）
- 8・適合ランプを確認し、ソケットキャップ、リング、ゴムパッキンを正しく挿入し、ランプを確実に取り付けした後、防水性が損なわれないよう確実にソケットキャップを取り付ける。（図3）

取り付けが終わりましたら、器具が確実に取り付けられているか、もう一度確認する。

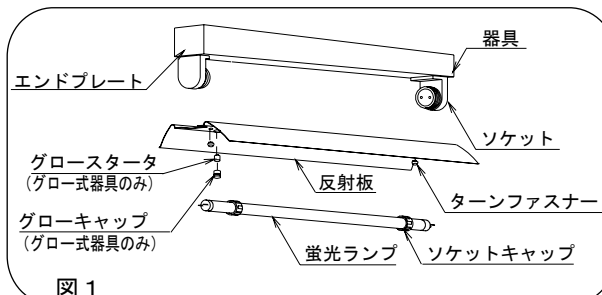


図1

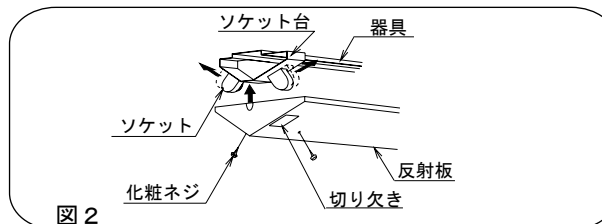


図2

必ずしてください

●グローキャップ及びソケットキャップは、防水性が損なわれないよう確実に締めてください。

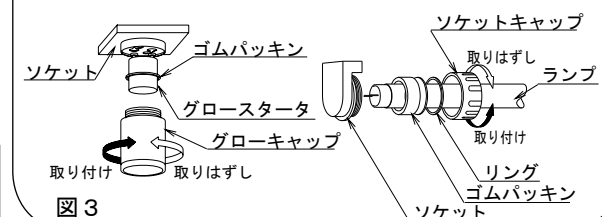


図3

取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

■このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

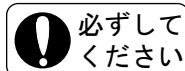
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 煙がでたり異臭がするなどの異常が生じたら、ただちに電源を切ってください。そのままお使いになると火災・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。

⚠ 注意

- 器具を温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ・ランプ交換（必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。）

- 蛍光ランプの口金付近が黒ずみますと蛍光ランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させますので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。



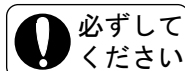
必ずして
ください

ランプ、反射板がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布にせっけん水を浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。



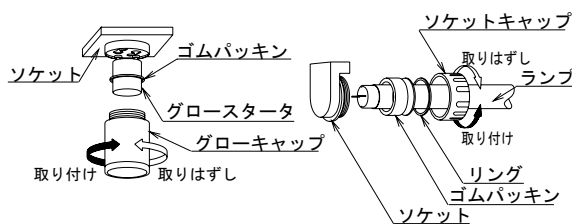
禁止

みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水及び洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき、変形、変色、サビの原因となります。



必ずして
ください

- お手入れなどで反射板を外し、再度取り付ける場合は、左項の「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。不完全に取り付けると落下して、けが・物損の原因となります。
- グローキャップ及びソケットキャップは防水性が損なわれないよう確実に締めてください。



禁止

- 適合ランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。火災・器具の破損の原因となります。
- 消灯直後10分間はランプが高温ですので素手で触らないでください。やけどの原因となります。

交換部品

W数区分	適合ランプとランプ径	グロースタータ
20W グロー式	FL20SS/18 (φ28管専用)	FG-1P
40W グロー式	FL40SS/37 (φ28管専用)	FG-4P
40W ラビッド式	FLR40S/M (φ32管専用)	

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

Ⓔ日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2

電話 (03) 3255-5256

2003.04 KTA29760 R2